
平成 25 年度 第 1 回「学芸大学駅周辺地区懇談会」 議事概要

日 時：平成 25 年 7 月 18 日（木） 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分

場 所：目黒区鷹番住区センター 第 3・4 会議室

出席者：メンバー：15 名

目黒区：都市整備課：中澤課長、井出係長

道路工事課：清水係長、伊藤氏

コンサルタント：益永、小林、河井

1 報告事項、資料等の説明

- 1) 東西商店街の交通安全対策の整備工事について
- 2) 碑文谷公園前交差点の交通安全対策について
- 3) 整備工事に合わせた「商店街のまちづくり」の取り組み状況について
- 4) その他

2 意見要旨

1) 東西商店街の交通安全対策の整備工事について

工事の日程について

- ・ 9 月の土日にお祭りとの日程と重なるので、お祭りに影響はないのか。御輿や山車の安全性を配慮してほしい。

そのように配慮をします。お祭り中は工事をしない形になります。

電線について

- ・ 電線に黄色いカバーが付いており、見た目が良くないため、全体の空間も含めて、景観的な配慮してほしい。

黄色いカバーはおそらく工事中に重機などから保護するために設置した仮設だと思われるため、そのうちはずされると思う。

2) 碑文谷公園前交差点の交通安全対策について

交通安全対策の内容について

- ・ 碑文谷公園の入り口や歩道の滞留部分において、確保されている歩行者の空間はどのようになるのか

ガードレールを車道側に出して、歩行部分を広げる。

- ・ 横断歩道の数は変わらないのか。

横断歩道の数は北側に 1 つ増える形になる。

- ・ 交差点中央の三角のゼブラの部分には構造物を設けるといふことなのか。

構造物を設置すると危険であるため、構造物は設置しない形になる。

信号について

- ・ 信号が赤点滅となっている箇所はどのようになるのか。

現在はどこかの信号が青のときに点滅しているが、すべての信号が赤になったときだけ、点滅する形に変更になる。

その他

- ・ 現在は、交差点が複雑で運転手の都合のよいように解釈しているため、危険である。警視庁も力を入れて整備を進めている。
- ・ 横断歩道が変わることによって、自転車が交通ルールを守るかが不安である。

- ・ 整備することでだいぶよくなると思う。
現在の交差点は広くてわかりにくいので、狭くすることでわかりやすくなると思います。
- ・ 難しい話だと思うが、環状 7 号線から線路沿いの一方通行の道を逆にすることでわかりやすくなると思う。現在の交差点では、どこの信号を見ていいのかわかりづらい。
現在の交通の流れのまま、交差点を整備し、また、信号の制御も変えるので、どの信号を見ればよいかわかりやすくなると思います。

3) 整備工事に合わせた「商店街のまちづくり」の取り組み状況について

商店街ルール of 文言について

- ・ ルールはよいものができたと思うが、「みんなのルール」の一部分だけ対象が地元になっている。商店街の事業者向けのルールなのに地元を対象にするのは違うのではないか。
地元にも協力してほしいという気持ちを前に出したかったため、このような形になった。
- ・ ルールについては正しいのではないか。商店街利用者を全面に出してルールに取り組みましょうでよいと思う。商店街だけでは限界があるため、地元も協力していかななくてはならない。
- ・ 一部分だけ地元が対象と感ずるため、商店街に強制されたと思う人や反発する人も出てくるのではないか。地元も一緒にやっていくという考え方は正しいと思う。
- ・ 商店街ルールに対する意見やクレームなどは一件も来ていない。
- ・ 反発があってもよいのではないか。人それぞれ捉え方があるので全員にわかってもらうのは難しいと思う。ルールを続けていき、少しずつ浸透させていくしかないと思う。
ルールについては、始めに自分たちができることとしてまとめたものである。主語がわからないという意見もあったが、作ったもので進めていくことになった。

商店街ルールを運用するに当たってのアイディアについて

- ・ 商店街の中で学大商店街ルールを徹底していくために、不動産屋に協力してもらおうという話しは出てきている。また、少しずつではあるが周知を徹底しているが効果がすぐに出てくるかはわからない。商店街としてはシャッター通りにはしたくないため、難しい立場である。
- ・ 町会も商店会もがんばっていると思う。今回の話し合いで、不動産屋に協力してもらおうという話があったが、とても良い方法だと思う。商店街の物件が出るのは不動産屋が始めであり、商店街に入る前に、ルールの徹底をすることがはじめではないか。また、学芸大学に新たに住みたいという人も同様で、ルールを徹底していけばよくなると思う。1 ついい方法が出たので、まず取り組んでみては良いのではないか。
今回の意見は区から商店街に伝えて、よい関係を作りながらルールを運用していきたい。

商店街ルールの運用について

- ・ 町会としてどう対応するか。商店街だけの問題ではない。あまりにもひどい場合は、注意をし、区に連絡するといった対応も必要である。それでも効果がなかった場合は、効果がある別の活動を行っていく必要があるのではないか。
- ・ あの店が出ているからというのを許してしまうと歯止めが利かなくなってしまう。
- ・ 商店街の利用者の一人であるが、空間が荒れているという印象を受ける。看板と放置自転車は特にひどい。このことは、みんなが知っていることで、その上でどうするか考えなくてはいけない。放置自転車や看板の違反は地元以外の人が行っているのではないか。
- ・ 利用者を前面に出して、ルールを守っていきましょうというのでもよいのではないか。
- ・ 商店街で買い物をしやすくしたい。自転車を使いたい人もいると思う。注意することで商店街から強制されたと思われないうようにしたい。

- ・ ルールではなく、看板や放置自転車を置けないという商店街の宣言という形にしても良いのではないか。
- ・ 大幅に違反しているところは決まっており、数件である。
- ・ 主役は地元の間人であるとする。
- ・ 看板に関しては、少し良くなっても、すぐにまた戻ってしまう。継続的な取り組みが必要である。
- ・ 警察に言うのか、区に言うのか等、具体的にどこを窓口にすれば、解決してくれるのかを決めたい。
実際に、言っても聞いてくれない店舗はあるのは事実である。窓口に関しては商店街事務所に具体的な店舗名を出して貰うのが良いと思う。その後、警察やパトロールを行うなどの対策を行うことができると思う。(商店街)
- ・ 商店街としては看板などはみ出しは徹底していこうと思う。警察が入れば一時的に良くなるが、すぐに戻ってしまう。何か良い方法があれば話し合いたい。
- ・ カラー舗装などでハード面の整備は良くなったので、ソフト面をどのようにするのが課題である。
- ・ 今回のメンバーは気がついており、意識が高い人が集まっているが、他の人と少しギャップがあると思う。町会と商店街の連合チームとして紙などで出しても、なぜ町会が出てくるのかということになる。
- ・ 具体的にどのようにすればよいのかという話し合いがしたい。
- ・ パレードなど楽しめるイベントなどと合わせて活動してはどうか。
- ・ 自由が丘で放置自転車が多いところにベンチを置いて対策している例がある。
自由が丘に関しては、商店街で対策している。ベンチを置いたところはなくなったが、そこ以外の場所が増えてしまっている。また、屋台などがたくさん出ていたが、警察と商店街、地元でパトロールを行ってきた結果、屋台がほぼなくなった。
ベンチの設置に関しては、やってみても良いと思う。
以前に東口で、店舗の前にテーブルや椅子をおいていたこともあるが、クレームが出たためやめてしまった。やるとしたら覚悟を持ってやらなくてはいけない。
- ・ 放置自転車対策におけるシルバー人材は、目黒区の取り組みなのか。また、現在もやっているのか
区の取り組みであり、駅から少し離れた所でやっている。
- ・ 中途半端な取り組みなのではないか。
厳しい財政の中で、人数が減っているのは事実であるが、放置自転車の数は減っており、効果はあった。ほぼボランティアのような形でやってもらっているが、クレームが出てしまった。
- ・ 昔と比べたらよくなっている。すぐにはなかなか良くなる。長いスパンを見て、良くしていこうという形で進めていかなくてはいけない。いたちごっこであっても続けていくことが重要で、少しずつ良くなっていけば良いのではないか。
- ・ 看板に関しては自分たちのいうことは聞いてくれないが、区や警察のいうことは聞いてくれるので、行政と一緒に少しずつやっていき、良くしていきたい。
警察と一緒にいると聞いてくれるので、区と警察と地元でパトロールなどをやることは可能である。
- ・ 警察を動かすのも町会と商店街が連盟で要望するしかない。
まだまだ努力は必要だが、放置自転車と看板についても5、6年前と比べると良くなっている。小学校と警察、区で合同パトロールはやったが、継続がなかなかできていないので、やっていきたいと考えている

4) その他

整備の事業効果について

- ・ 碑文谷公園前の整備はこの地域ではじめてまっとうな整備であるため、宣伝をするべきでないか。また、学大全体の整備効果を図や数値として出してほしい。

データを整理したいと思う。

補助 26 号について

- ・ 補助 26 号線は都の事業であるが、道路以外は区の管理となっている。その中で、スマイルプラザは現在、障害福祉課が担当になっているが、障害福祉課は広場を含めて、このような場所を管理した経験がないため、都市計画などの担当部署などが管理したほうが良いのではないか。

補助 26 号線で分断されている北側について、スマイルプラザは障害者の利用が優先されるため、障害福祉課が担当になる。校庭開放のような使い方は難しいと思う。

- ・ 補助 26 号線の工事中に、スマイルプラザまでのルートをもどのようにすればよいかを利用者に説明できるようにしてほしい。

鷹番小学校からどのルートを通ればよいかの検討は行っていると聞いている。スマイルプラザについての周知の仕方は課題である。

- ・ 南側の広場になるところは地域の人を含めて、できるだけ早く今後の取組を進めてほしい。

南側については、区の街づくりの種地となっているが、これからどのように利用するかは検討事項になる。

ゾーン 30 について

- ・ 補助 26 号線ができた段階でゾーン 30 について明瞭に謳ってはどうか。また、幹線道路で囲まれた地域に関してどのような方向性で進めるのかを示してほしい。

ゾーン 30 は、警察の担当となっているが、区として警察に話はしている。

学大街づくり通信について

- ・ 8 月中にニュースとして地元知らせていきたいと考えている。

以上